

令和4年度第1回糖尿病対策推進協議会 議事概要

○日 時：令和4年7月29日（金） 18:30～20:00

○開催形式：ZOOM（事務局：県庁281-B会議室）

○出席者：群馬県糖尿病対策推進協議会委員 15名

事務局 医務課、国保援護課、健康長寿社会づくり推進課 計8名

○配付資料

- ・次第
- ・委員名簿
- ・資料1-1 第9次保健医療計画について
- ・資料1-2 群馬県保健医療計画（参考）
- ・資料1-3 医療施設機能調査概要
- ・資料1-4 前回調査項目（医療施設機能調査）（参考）
- ・資料1-5 県民意識調査概要
- ・資料1-6 調査項目一覧（県民意識調査）
- ・資料1-7 前回調査票（県民意識調査）（参考）
- ・資料2 地域医療関係者との連携推進、保健指導実施体制の整備支援、新規事業のビッグデータ等の活用
- ・資料3-1 令和3年度糖尿病対策推進事業実績報告
- ・資料3-2 令和4年度糖尿病対策推進事業実施計画
- ・資料3-3 群馬県の慢性透析患者等の状況

○会議内容

1. 開会
2. 挨拶 群馬県健康福祉部健康長寿社会づくり推進課長
3. 議事 進行：山田会長

(1) 第9次群馬県保健医療計画の策定について

事務局（医務課）から、資料1について説明。

- ・資料1-1 第9次保健医療計画について
- ・資料1-2 群馬県保健医療計画（参考）
- ・資料1-3 医療施設機能調査概要

- ・資料 1－4 前回調査項目（医療施設機能調査）（参考）
- ・資料 1－5 県民意識調査概要
- ・資料 1－6 調査項目一覧（県民意識調査）
- ・資料 1－7 前回調査票（県民意識調査）（参考）

<質疑・意見等>

（山田会長）医療施設機能調査と県民意識調査は項目を1個ずつ見ていくのでよろしいか。第8次保健医療計画策定時は各委員の施設に持ち帰ってもらって、1項目ずつ検討して後日回答したが、本日議論した方がよいか。

（事務局）本日、全ての項目を議論していただく必要はない。おっしゃっていただいたとおり、お持ち帰りいただいて後日御意見いただく方法でもよい。

（山田会長）前は持ち帰って1項目ずつ詳しく見させていただいた。前回改定した部分も多くある。また、前回は、他県にはあって本県にはない項目の一覧を作ってもらい、それをもとに、本県の項目を検討した。今回はどのレベルで検討すればよいか。

（事務局）経年変化を確認することも含め、前回調査項目をベースでご議論いただくのが最初のステップと考えていた。その上で他県比較等、具体的な切り口が必要であれば、事務局で検討、準備をする。

（山田会長）何を指すかによる。あと締め切りは10月か11月までに形になればまよければよいか。

（事務局）短時間で恐縮だが、この会議の後半月くらいで決めていただきたい。

（廣村委員）少し時間いただいて、読みなおして、各専門分野を見ていただいて、意見集約すればよいかと思う。

（山田会長）ここ数年で、新しい薬も出ているので、検討は必要ではないか。例年だとアンケート用紙があって、協議会後に送付できるような形だったが、今回はどうするか。

（事務局）事務局でアンケート用紙を送付するので、適宜御意見いただく形でよいか。

（山田会長）承知した。県民意識調査についても項目を加えた方がよろしいか。

(事務局) そちらも御意見いただけるとありがたい。他の専門部会からも意見をいただいているので、それらを勘案しながら対応していく。

(川島委員) 県民意識調査は項目数が多すぎるので、できれば削除や変更の意見もご検討いただければと思う。

(山田会長) それでは、各委員の所属する施設等で協議いただいて、それを事務局でとりまとめる形でよろしいか。例年だと、時間がないので、最終的には当協議会会長に決定を一任いただいていたが、事務局それでよいか。

(事務局) それでお願いしたい。期限等は改めて会長に相談させていただきたい。

(山田会長) それでは、最終的なとりまとめは会長に一任することとしたい。時間があれば、委員の皆様にも共有する。

(2)「群馬県糖尿病性腎臓病重症化予防プログラム」の推進について

事務局(国保援護課)から、資料2について説明。

- ・資料2 地域医療関係者との連携推進、保健指導実施体制の整備支援、新規事業のビッグデータ等の活用

<質疑・意見等>

(山田会長) 国保援護課の事業の流れを説明いただいた。

(山田会長) ビッグデータを活用した手法について、正しいものか誰がどのように判定しているか。

(事務局) 栃木県で同じ事例で行っていて、そこで開発されたモデルがある。

(山田会長) 患者さんのデータを使用するにあたり倫理委員会への諮問は必要ないか。

(事務局) KDBデータを活用し、保健指導の必要性が高い対象者を抽出し、指導の優先順位をつけるものである。委託契約の中で、個人情報の取り扱いについて協定を結んでそれに沿って行っていく。

(山田会長) 協議会の事業としてではなく、国保援護課の事業としての報告という認識で良いか。

(事務局) はい。

(3) 群馬県糖尿病対策推進事業について

事務局（健康長寿社会づくり推進課）から、資料3について説明。

- ・資料3-1 令和3年度糖尿病対策推進事業実績報告
- ・資料3-2 令和4年度糖尿病対策推進事業実施計画
- ・資料3-3 群馬県の慢性透析患者等の状況

<質疑・意見等>

（山田会長）群馬県は糖尿病から透析になる方が多い。ワースト3が10年間全く変わっていない。

（浜崎委員）富山県も車社会だが、糖尿病性腎症による透析導入患者をみると富山県は悪くないことから何が違うのか。富山県はたくさん魚を食べているが、それだけでは説明がつかない。何か分かっている要因はあるか。

（山田会長）10年以上論議しているが、なかなか分からない。特に県の東の方が多い。

（廣村委員）透析になる方は人口あたりだと桐生エリアと高崎エリアが多い。透析ができる施設がたくさんありアクセスが良いので、ある程高齢になってもしっかりと透析を受けられる。あともう一つは、食生活で炭水化物が多いと言われている。それが富山県とどの程度違うのかは分からないが。

（山田会長）透析導入患者数は経年的にみて上下なく、推移している。遺伝的なものがあると言ったらそれで終わりになってしまうが。

（浜崎委員）原疾患が糖尿病性腎症の患者数について、2016年だけ下がっている箇所があるが、何かイベントをしたとか、統計の取り方が少ないようになったとか、要因は何か。

（山田会長）次の年に元にもどっているので、たまたまか。県の方で何か分かるか。統計の取り方か。

（廣村委員）これは透析学会の資料で、各施設が年次報告で出すものである。2020年も少し減少しているので、2021年のデータが期待される場所である。

（山田会長）事業はしっかりとやっていただいている、研修会はある程度の評価をいただいている。

(4) その他

(佐野委員) 医科と歯科の連携がまだうまくいっていない。他県の事例で調剤薬局が糖尿病手帳の歯科の項目に記載がない場合、歯科の話をしてくれるという事例がある。そういった活動を広げられたらいいと思う。

(田尻委員) 先ほど佐野委員から薬局の関わりを御紹介いただいたが、薬剤師会としても糖尿病の対応で何かできることはないか探っているところではあるので、できることがあれば御提案いただいたり、こちらからも発言させていただきたいと思う。

(荻原委員) 県民意識調査について、実際にやってみると40分近くかかり、わかりにくい項目もある。一方、調査をすることで、終末期を考えるきっかけにもなるので、調査をすることで意識を高めることにもつながると感じた。

(宮崎委員) 医療施設機能調査の見直しにあたって、結果の示し方について、前回結果と比較する予定はあるのか。

(事務局) 事務方で確認することはあるかもしれないが、今のところ、前回との比較の予定はない。

4. 閉会